

設置の背景と趣旨

いじめ、不登校や児童生徒の問題行動等は深刻化しており、教育上の大きな課題となっています。こうした問題行動の背景には、児童生徒の心の問題とともに、学校、家庭、地域や友人関係等の問題が複雑に絡み合っており、どちらもより専門的な対応が求められています。

また、問題を抱えた児童生徒への対応だけではなく、全ての児童生徒を対象にした取り組みを行っていくことが必要です。

一方、多くの学校現場で、教員の負担を軽減するとともに、家庭や地域との連携をより一層図ることが求められています。

こうした課題に対応するため、名古屋市では、常勤のスクールカウンセラーを始めとする3つの職種と、非常勤のスクールポリスからなる専門的知識・経験を持ったスタッフを新たに配置しました。

常勤の専門職を学校現場に配置することで、児童生徒と普段から関わりながら教員と協働し、児童生徒の問題の未然防止、早期発見や個別支援を行うとともに、学校を支援する体制づくりを推進します。

職員構成と職務内容

なごや子ども応援委員会は以下の4職種のスタッフで構成されています。

スクールカウンセラー

臨床心理士等の専門的知識・経験を活かし、心理教育等の観点に基づいた学校生活全般に対する援助や、児童生徒・保護者・教職員への相談対応を行います。

スクールソーシャルワーカー

社会福祉士等の福祉の専門的知識・経験を活かし、児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関との連携を図ります。

スクールアドバイザー

学校に対する外部からのご意見への対応や地域との連絡調整を行います。

スクールポリス

元警察官が学校内外の見守り活動や必要に応じた警察との連携を図ります。

設置ブロックと設置校

なごや子ども応援委員会は右の11ブロックの中学校11校に設置されています。

設置校を中心に活動するとともに、ブロック内の学校からの要望に応じ、活動します。

このほか、スクールカウンセラーが常勤的に活動する配置校があります。



なごや子ども応援委員会は、子どもたちが主体的に人生の針路を探ることができるようお手伝いします。

- 1 学校内の日常活動を通して、教員と協働し、児童生徒の問題の早期発見に努めます。**
 - 授業、休み時間、給食、清掃、部活動、登下校時の見守り
 - いじめ等対策委員会、職員会議、生徒指導会議、現職教育等の各種会議への参加
 - 学校生活アンケートの分析・活用に際しての支援
 - 危険箇所、たまり場等への定期的な巡視活動
- 2 幅広い相談対応を行います。**
 - 専門性と経験を活かした幅広い相談対応
 - 家庭訪問等による児童生徒や保護者の支援
- 3 家庭、地域、関係機関との連携を強化します。**
 - 学校と地域・家庭との連絡調整
 - 区役所、児童相談所、警察との連携・情報交換
 - 関係機関が開催する会議等への参加
- 4 未然防止につながる取り組みの支援を行います。**
 - 学年集会・授業等における未然防止につながる取り組みの支援
 - いじめ予防等につながる生徒会活動等への支援
 - 人権教育推進に関わる授業づくりの支援